

6月21日(木)に「届けよう、服のチカラプロジェクト」の講演会が1年生対象に行われました。服のチカラプロジェクトは有馬高校のユネスコ活動の中心の1つです。今年の4月に入学した生徒も講演会を通じて、難民の子供たちが置かれている現状や日本に暮らしている私たちが何をできるのかを知り、世界の一員としてどのような行動が必要かを考えるきっかけとなりました。

本校ではユネスコ委員を中心に10月ごろ周辺の小学校と協力して、もう着なくなった子供用の服を回収しています。1年生からもこの活動に参加したいという声が聞かれました。

